

# 5領域の特別支援学校教諭免許状の取得を 可能とする共同教育学部の教職課程 —群馬大学と宇都宮大学との連携・協力— ならびに 現職教員の資質向上のための取組について

群馬の教育養成を担い149年  
地域の教師教育の拠点

**GUN**  
GUNMA UNIVERSITY  
**DAI**  
国立大学法人  
群馬大学共同教育学部



群馬大学共同教育学部  
霜田浩信 金澤貴之



# 宇都宮大学・群馬大学共同教育学部

## — 両大学の強み・特色を活かした教員養成機能の強化 —

### 2020年設置

#### 設置の趣旨・目的

- ・共同教育課程の構築を基に、そのスケールメリット・シナジー効果を活かし、教員養成機能の強化と教員養成教育の質の着実な向上を図る。
- ・両大学双方の専門分野の強み、特色を組み合わせた高い質と幅広い教育カリキュラムを基に、次代の地域の義務教育課程を担う教員を養成する。
- ・地域の義務教育課程、教員研修体制に対して責任を持つ組織体制・実施体制を安定して維持していく。

#### 養成する人物像

- ・子どもの成長・発達を支える教育への熱い情熱と学校教育や教職、教科や教育課程に関する基礎理論・知識を持ち、それを実践できる人物。
- ・幅広い教養と実践知に裏付けられた高い専門性とチャレンジ精神、社会人としての高い識見を持っている人物。

#### 教育課程の特色

### 宇都宮大学 (入学定員170人)

#### 強み：小学校教科の手厚い指導

小学校教科専門科目・小学校指導法に関しては、**宇都宮大学教員の専門性を生かして**、両大学連携のもとシラバスを統一し、**斉一科目・共通科目**にカリキュラム編成する。

#### 小学校アドバンスト科目の展開

各小学校でのリーダー、授業方法の提案者となることを目的に設置

#### 実績を活かした一括クラスの導入

専門分野の垣根を越えた“横のつながり”を深め、様々な考え方の学生が交流することで人間力の向上を図るため導入



生物生産と自然・環境との調和を目指した農学を支援する  
宇都宮大学農学部附属農場

特別支援学校教諭免許 (3領域：知的障害・肢体不自由・病弱者)

### 共同教育学部設置に伴うシナジー効果

斉一科目(全学生必修)

共通科目

互いの強み・専門を組合せた高い質と幅の共同教育



遠隔メディアによる同時受講

スタッフの充実で幅広く深い教育内容の授業を実施！

両大学の実績と専門性を組合せた質の高い教育

### 群馬大学 (入学定員190人)

#### 強み：中学校専攻教科の手厚い指導

中学校教科の指導法に関しては、**群馬大学教員の専門性を生かして**、両大学連携のもとシラバスを統一し、**斉一科目・共通科目**にカリキュラム編成する。

#### 1年次からの学校現場体験

1年生から4年生まで、学校現場にふれる授業を用意して教育現場への理解をより一層深めるとともに、学校教育に対する多様な要求に対し、柔軟かつ効果的にこたえられる高度な専門的知識・技術と豊かな人間性を身に付けた実践的指導力のある教育者の養成を目的に実施

#### 新設 教職特別演習(集団宿泊研修)

目的：大学・専攻間の壁を越えた交流による『人間力・協働力の育成』と教育実習後の成長の合同振り返りによる『高い教職意欲の醸成』

交流

交流

一括クラスによるメディアでの交流



宿泊演習Ⅰ



宿泊演習Ⅱ

一括クラスによるメディアでの振り返り

教員採用試験受験率+合格率の向上

学生同士の交流を通してコミュニケーション能力がUP！

多様な人間同士の交流により豊かな人間性を獲得

#### 新設 Forefront科目群

グローバル社会への対応

国際学部、同附属多文化公共圏センターの活用  
多文化共生プログラム 国際キャリア教育プログラム

持続可能な社会(SDGs)への対応

農学部附属農場(教育関係共同利用拠点)の活用  
農業体験

目的：両大学の特徴ある資源の活用により、『近未来社会を支える資質能力』を持った教員養成

ICT/プログラミング教育

グローバル教育

ESD Education for Sustainable Development

Society5.0への対応

理工学部、数理データ科学教育研究センターの活用  
教科でのICT活用法 e-learning

グローバル社会への対応

全国初の在外日本人学校でのインターンシップ実績  
海外インターンシップ



学校現場で求められる教育課題への対応力がUP！

新学習指導要領を見据えた教員養成

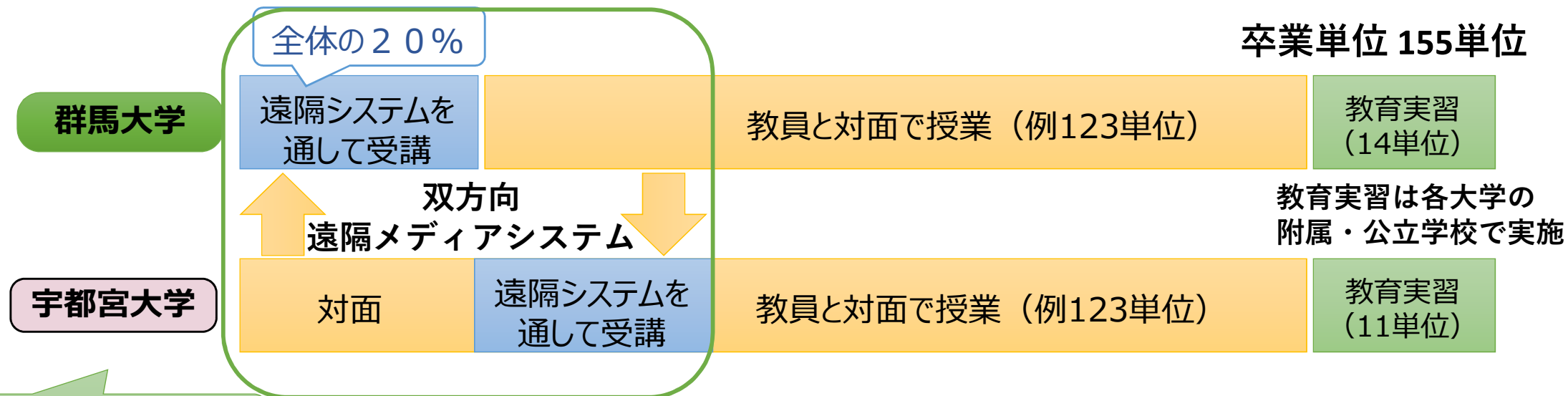
特別支援学校教諭の養成領域が拡大！

5領域(知的障害・肢体不自由・病弱者・聴覚障害者・視覚障害者)の免許取得可能

特別支援学校教諭免許 (4領域：知的障害・肢体不自由・病弱者・聴覚障害者)

# 共同教育学部の設置

群馬大学にいながら、遠隔で宇都宮大学の授業も受講することができる  
卒業単位の20%の単位を遠隔授業を通して履修



2つの大学の授業が受けられる!

メディアシステム等を通じて、両大学の教員から卒業研究の指導を受けることも可能  
共同教育学部のLMSを設定し、両大学学生、教職員が利用可能

## 齊一科目(全学生必修)

遠隔メディア授業



スタッフの充実で互いの強み・専門を  
組合せた高い質と幅の共同教育

## 教職特別演習 (集団宿泊研修)



目的：大学・専攻間の壁を越えた交流による『人間力・協働力の育成』と教育実習後の成長の合同振り返りによる『高い教職意欲の醸成』

## 新設 Forefront科目群

目的：両大学の特徴ある資源の活用により、『近未来社会を支える資質能力』を持った教員養成

ICT/プログラミング教育

グローバル教育

ESD Education for Sustainable Development

# 特別支援学校教諭免許状 5領域の実現

宇都宮大学

群馬大学

課程認定上の担当者（イメージ）

基礎	知・肢・病弱	聴覚	視覚
A	B	d	D
	C	e	E

担当科目 知的・肢体・病弱 + 視覚  
 栃木県教育委員会における免許状認定講習で  
 知・肢・病は担当できるように設定

担当科目 知的・肢体・病弱 + 聴覚  
 群馬県教育委員会における免許状認定講習で  
 知・肢・病は担当できるように設定

特別支援教育特別専攻科の担当者（イメージ）

基礎	知肢病	聴覚
a	b	d
	c	f

CE：教職大学院兼務

## 共同教育学部の設置

全員：教職大学院兼務



宇都宮大学

Eを新規採用

3領域 知的・肢体・病弱  
 <教員> A B C  
 D（教職大学院担当） 計4名



群馬大学

4領域 知的・肢体・病弱 聴覚  
 <教員> a b c d e  
 f（専攻科担当） 計6名

# 特別支援学校教諭免許状:5領域免許取得を想定した教育課程等の概要(イメージ)

	授業科目	配当年次	単位数		授業形態	開設大学	担当教員(イメージ)		備考	
			必修	選択			宇都宮	群馬		
特別支援学校一種免許状にかかわる専門科目	第1欄	特別支援教育総論	1前	2		講義	宇都宮大学/群馬大学	A	a	共通科目
	第2欄	知的障害児の心理・生理・病理	1前	2		講義	宇都宮大学/群馬大学	B	b	共通科目
	第2欄	知的障害児教育課程・指導法	1後	2		講義	宇都宮大学/群馬大学	A	c	共通科目
	第2欄	肢体不自由児の心理・生理・病理	1後	2		講義	宇都宮大学/群馬大学	D	b	共通科目
	第2欄	肢体不自由児教育課程・指導法	2前	2		講義	群馬大学		c	メディア
	第2欄	病弱児の心理・生理・病理	2前	2		講義	宇都宮大学/群馬大学	D	b	共通科目
	第2欄	病弱児教育課程・指導法	2後	2		講義	宇都宮大学	A		メディア
	第2欄	知的障害児心理学特論	2前		2	講義	宇都宮大学/群馬大学	B	b	共通科目
	第2欄	知的障害教育特論	2後		2	講義	宇都宮大学/群馬大学	C	a	共通科目
	第2欄	障害児自立活動論	2後		2	講義	宇都宮大学/群馬大学	B	c	共通科目
	第2欄	視覚障害教育概論	2前		1	講義	宇都宮大学	E		メディア
	第2欄	聴覚障害教育概論	1後		1	講義	群馬大学		e	メディア
	第2欄	視覚障害児の心理・生理・病理	3前	2		講義	宇都宮大学	D		メディア
	第2欄	視覚障害児の心理特論	4前	2		講義	群馬大学		d	メディア
	第2欄	視覚障害児教育課程・指導法	2後	2		講義	宇都宮大学	E		メディア
	第2欄	視覚障害児指導法特論	4前	2		講義	宇都宮大学	E		メディア
	第2欄	聴覚障害児の心理・生理・病理	2前	2		講義	群馬大学		d	メディア
	第2欄	聴覚障害児の心理特論	2後	2		講義	群馬大学		e	メディア
	第2欄	聴覚障害児教育課程・指導法	2前	2		講義	群馬大学		a	メディア
	第2欄	聴覚障害児指導法特論	3前	2		講義	群馬大学		e	メディア
	第3欄	発達障害教育概論	1後	2		講義	宇都宮大学/群馬大学	B	b	共通科目
	第3欄	重複障害教育概論	3前	2		講義	宇都宮大学/群馬大学	D	f	共通科目
	第3欄	盲ろう教育概論	4前		2	講義	宇都宮大学/群馬大学	D	f	共通科目
	第4欄	特別支援学校C実習	3後	2		実習	群馬大学			
	第4欄	特別支援学校D実習	4後	3		実習	群馬大学			
	第4欄	特別支援学校実習事前・事後学習	3・4前後	1		実習	群馬大学			
	免許指定科目(知・肢・病・視・聴)合計			46						

# 教育基礎科目での両大学における科目設定

## 宇都宮大学

特別支援教育**基礎** 1単位

宇都宮大学特別支援教育分野の教員

- 第1回 特別支援教育とは
- 第2回 わが国の特別支援教育の現状と課題
- 第3回 特別支援教育の教育課程
- 第4回 障害のある子どもの理解と支援 1 :  
個別の指導計画および個別の教育支援計画を中心に
- 第5回 障害のある子どもの理解と支援 2 :  
自立活動を中心に
- 第6回 発達障害や特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援
- 第7回 世界の特別支援教育の現状
- 第8回 まとめ

## 群馬大学

特別支援教育の**実践と事例研究** 1単位

群馬大学特別支援教育講座の教員

- 第1回: 特別支援教育における事例研究の意義
- 第2回: 知的障害のある子どもへの教育実践と事例研究
- 第3回: 肢体不自由の子どもへの教育実践と事例研究
- 第4回: 病弱の子どもへの教育実践と事例研究
- 第5回: 視覚障害の子どもへの教育実践と事例研究
- 第6回: 聴覚障害の子どもへの教育実践と事例研究
- 第7回: 発達障害の子どもへの教育実践と事例研究
- 第8回: まとめ

双方向遠隔メディアシステム

双方向遠隔メディアシステム



# 充実した教育実習



群馬県・各自治体の教育委員会  
附属学校・公立学校

連携

群馬大学

1年次から教育現場へ 複数の学校種、複数の障害種の特別支援を経験可能に

## 1年次

教育現場体験学習

- 9月 公立小・中学校 5日間
- 教師側の視点を体験 特別支援学級含む

## 2年次

授業実践基礎学習

- 9月 附属小・中学校・特別支援学校 5日間
- 授業観察を通して授業づくりを学ぶ

## 3年次

本実習AB 実習C

- 実習A: 9月～10月 附属小・中学校 5週間 基礎免許
- 実習B: 10月～11月 公立小・中学校 3週間
- 実習C: 11月 附属特別支援学校(知的障害) 2週間 幼稚園も可

3年後期は実習のみを履修(一部集中除く) 二重履修問題を解消

## 4年次

教育実習D

インターンシップ

- 実習D: 9月 公立の特別支援学校(知的障害・肢体不自由・聾学校(今後盲学校を検討)) 3週間
- インターンシップ: 実習D終了後 学生からの希望で特別支援学校等へ

## 教員への就職の状況

卒業年	H28	H29	H30	H31	R2
群馬大学	71.0%	69.1%	75.3%	73.7%	71.4%
国立大学平均	67.4%	67.5%	67.0%	65.7%	64.4%

- 教員採用試験の合格率は、極めて高い水準を維持
- 全国平均66.4% に対して 最近5年間の本学の平均値は70%以上

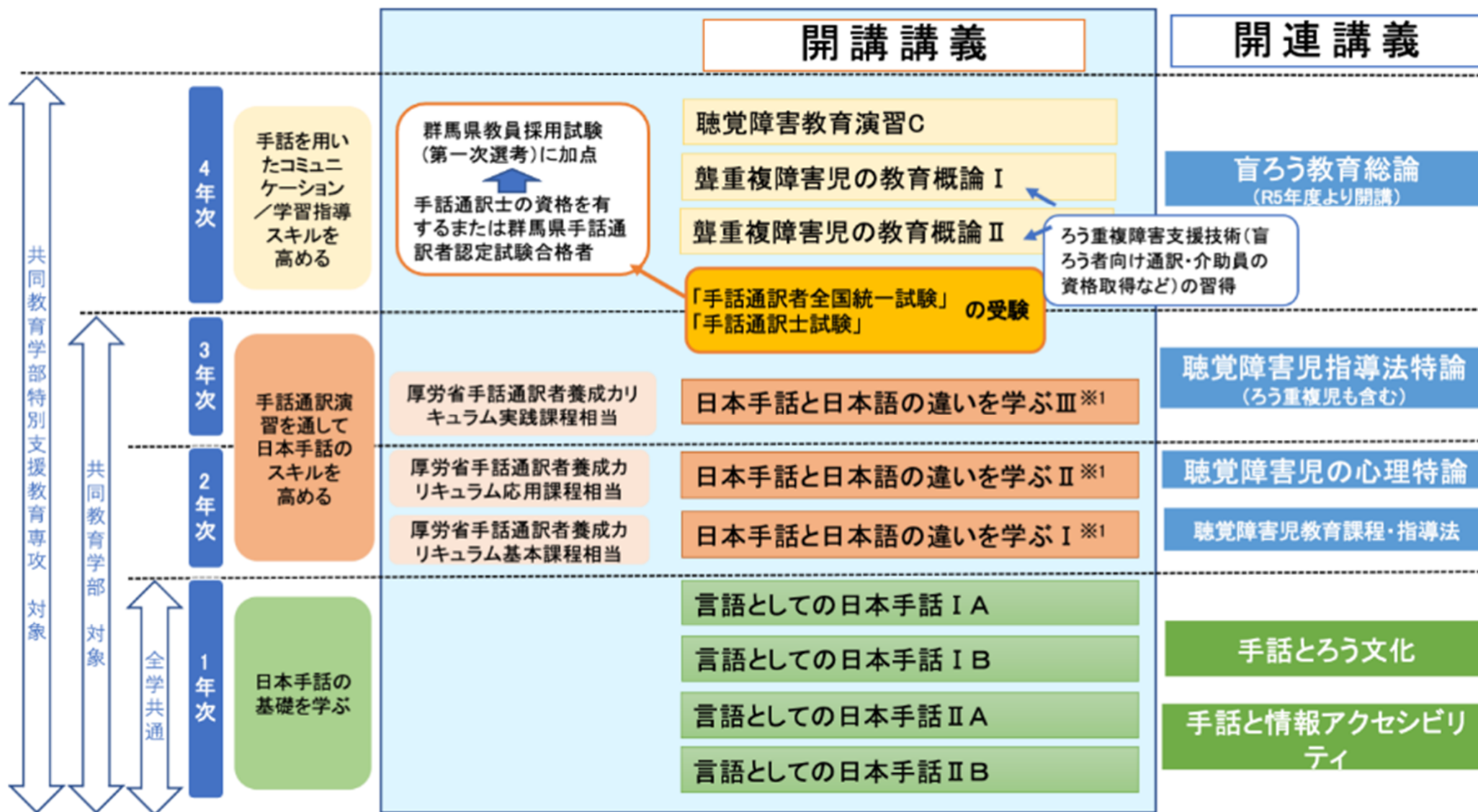
## 入試実施状況

年度	H29	H30	H31	R2	R3
募集人員	220	220	220	190	190
志願者数	932	830	1057	587	780
入試倍率	4.2	3.8	4.8	3.1	4.1

- 改組初年度は志願者数・入試倍率が低下
- 次年度以降（本年度）は回復



# 学内の手話サポーター養成プロジェクト関連授業





○2021年度から、群馬大学で開講している日本手話を学ぶ授業、手話通訳トレーニングを通して日本手話の言語運用スキルを磨く授業、聴覚特別支援学校教員養成の授業の一部を、公開講座として一般市民のみならずさまに受講していただけるようになりました。zoomを利用したオンラインで実施いたします。**遠方の方もぜひご参加ください。**

実施責任者: 共同教育学部特別支援教育講座教授 金澤貴之

# 公開講座

- 手話の教養講座
- スキルアップ
- 教員向け研修
- 群馬県, 大阪府と連携

講義名	回数	対象者	実施形態	内容	日程	講師	講習料
1 手話で学ぶ 手話講座 -手話とろう 文化- <b>(オンデマンド 配信あり)</b>	全6回	・手話を学びたい方 (手話通訳付き)	講義	前半と後半の2部形式。 前半:手話やろう文化についての理論的な解説 後半:日本手話の実技	5月13日(木) ~ 6月17日(木) 10:20-11:50	金澤貴之 下島森子	6,200円
2 日本手話 ネイティブと 学ぶ手話 ※	4回 から 選択 (各回 定員10 名)	・手話通訳者を目指す方(厚生労働省手話通訳者養成講座応用課程修了相当の方) ・聴覚障害児・者の教育及び支援に関わる方(日本手話の知識やスキルのブラッシュアップとしてご活用ください)	演習	日本手話の空間を利用した表現(社会的空間、図式的空間)	6月1日(火) 8:40-10:10	中野聡子 他	各1回 1,800円
				日本手話のテンスとアスペクト	6月9日(水) 12:40-14:10		
3 ろう通訳を モデルに学ぶ 手話通訳 ※	3回 から 選択 (各回 定員10 名)	・手話通訳者を目指す方(厚生労働省手話通訳者養成講座実践課程修了相当の方) ・聴覚障害児・者の教育及び支援に関わる方(日本手話の知識やスキルのブラッシュアップとしてご活用ください)	演習	ろう者の社会生活場面に關する談話の日本語-日本語翻訳分析と日本語手話訳出練習	6月24日(木) 16:00-17:30	中野聡子 他	各1回 1,800円
				ろう者の社会生活場面に關する談話の日本語-日本語の逐次・同時通訳訳出について、通訳作業処理過程の観点から改善点を分析	7月7日(水) 10:20-11:50		
				ろう者の社会生活場面に關する談話の日本語-日本語の翻訳・逐次通訳訳出について、通訳作業処理過程の観点から改善点を分析	12月18日(火) 14:20-15:50		
4 聴覚障害児 教育における 日本手話の 活用実践 ※ <b>(予定)</b>	3回 (各回 定員5 名)	・特別支援学校(聴覚障害)教員 ・特別支援教育について学ぶ学生 ・フリースクール等で聴覚障害児の教育に関わる方 ・厚生労働省手話通訳者養成講座実践課程修了相当の方 ・地方自治体の登録手話通訳者 ・手話通訳士	演習	小学部の教科指導における手話表現	6月15日(火)	中野聡子	各1回 1,800円
				自立活動における手話の活用	6月22日(火)	武居 渡	
5 手話で学ぶ 聴覚障害児 の発達 <b>(予定)</b> <b>(オンデマンド 配信あり)</b>	全3回	・特別支援学校(聴覚障害)教員 ・特別支援教育について学ぶ学生 (手話通訳付き)	講義	聴覚障害児の認知発達	10月28日(木)	中野聡子	各1回 1,800円
				聴覚障害児の手話言語発達	11月11日(木)		
				聾重複児の発達の様相とアセスメント	2022年 1月13日(木) いずれも 14:20-15:50		

※定員制となっている講義は、より多くの方に受講機会を提供するため、複数回の参加希望には沿えない場合があります。

オンラインでの授業

- ・zoomによるビデオ会議システムを  
用います。
- ・zoomへの接続方法などのご案内は  
行っておりません。



【問い合わせ先】 群馬大学研究推進部産学連携推進課 産学・地域連携係  
メール: kouza@jimu.gunma-u.ac.jp 電話: 027-220-7517

# 日本財団助成事業 2021～2030年度

## 聴覚障害に関わる支援人材育成を目的とした 遠隔手話教育システムの構築（長期目標）

対象		目的	運用する制度等	取得資格
大学生	群大	学生手話サポーター（学内の手話通訳者）養成，特別支援学校教員としての手話スキルの習得	単位互換制度	都道府県登録手話通訳者，手話通訳士，都道府県登録盲ろう者通訳・介助者
	他大			
高校生	通常校	手話のスキル習得	学校設定科目	市町村登録手話奉仕員
	聾学校	言語としての手話の学び	出張講義，学校設定科目	
市民	教養	教養としての手話の学び	公開講座	
	資格取得	手話通訳を目指す	履修証明プログラム	都道府県登録手話通訳者，手話通訳士
手話通訳者		技術のスキルアップ	公開講座	
教員	聴覚障害の知識習得		免許法認定通信教育	特別支援学校一種免許状
	手話に関する専門性習得			特別支援学校専修免許状
福祉・医療業務従事者		聴覚障害・手話に関する知識習得	公開講座	